

岩手県三陸海域研究論文 知事表彰事業

三陸海域は、寒流と暖流の潮境であり、栄養塩が豊富で水環境も良好なことから、生物の生産性が高く、多様性にも富み、また、深海の日本海溝が近海にあるなど、海洋及び水産の研究フィールドとしての好条件を備えています。岩手県では、三陸海域における海洋及び水産研究の活性化を目的として、若手研究者を対象に、岩手県三陸海域（内水面及び陸域を含む。）に関する論文の表彰事業を行っています。

応募資格

- 学生の部：日本国内の大学等または高等専門学校の4～5年次に在学する学部生、大学院生
一般の部：日本国内の研究機関等に所属（非常勤、臨時職員を含む）する45歳以下の研究者

対象研究

- ・三陸海域を調査・研究したもので、岩手県の水産振興に資すると認められるもの
 - ・広く水産振興に関するもの
- 【対象分野例】海洋物理学、海洋化学、海洋生物学、海洋地質学、海洋工学、漁業学、水産資源学、水産海洋学、水産増殖学、水産養殖学、水産化学、水産加工学、水産経済学 など
- ・応募する研究内容は、既発表、未発表のいずれも可能

賞の種類・賞品等

岩手県知事賞	特別賞
三陸海域を対象とした海洋研究として優れた内容と認められる研究	今後の研究継続により、さらなる成果が見込まれる研究又は独創性が高いと認められる研究
賞状及び副賞 旅行券5万円分	賞状及び副賞 旅行券2万円分

スケジュール

例年のスケジュールは次のとおりです（事情により前後する場合があります）



募集や応募状況等は、岩手県ホームページ、メールマガジン「いわて海洋研究コンソーシアム通信」等でお知らせします。

なお、メールマガジン登録を希望の方は、メール本文に氏名・所属を記入し、下記アドレスに送付願います。

E-mail：marine-con@pref.iwate.jp

<いわて海洋研究コンソーシアム通信とは>

いわて海洋研究コンソーシアムに参画する海洋研究機関等の最新の話題やイベント情報などを、電子メールで毎月11日に配信しています。

※いわて海洋研究コンソーシアムの主な参画海洋研究機関

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター、北里大学海洋生命科学部、岩手大学、国立研究開発法人水産研究・教育機構宮古庁舎、岩手県水産技術センター

岩手県知事賞歴代受賞者 ※過去10年間の受賞者

年度	受賞者（所属）	タイトル
H25	〔 澤井 悦郎 広島大学大学院 生物圏科学研究科 〕	三陸海域におけるマンボウとウシマンボウの遺伝的・形態的・生態的差異
	〔 川上 達也 東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター 〕	東日本大震災が三陸のアユ個体群に及ぼした影響とその回復過程
H26	〔 山田 秀俊 〔 岩手生物工学研究センター 〕 〕	イサダからの新規肥満抑制物質：8-ヒドロキシエイコサペンタエン酸（8-HEPE）の同定
	〔 平瀬 祥太郎 〔 東京大学大気海洋研究所 〕 〕	岩手県田老町におけるアゴハゼの太平洋グループと日本海グループの交雑集団の発見
H27	〔 福岡 拓也 〔 東京大学大気海洋研究所 〕 〕	三陸沿岸域に夏期限定で来遊するアオウミガメ
	〔 和川 拓 〔 水産総合研究センター 日本海区水産研究所 〕 〕	岩手県沖合域の水塊変動と沿岸域の表面水温の予測可能性
H28	〔 米原 善成 〔 東京大学大気海洋研究所 〕 〕	滑空する海鳥の飛行経路から海上風を推定する
	〔 笥 茂穂 〔 水産研究・教育機構 東北水産研究所 〕 〕	秋季におけるワカメ養殖場への栄養塩供給予測
H29	〔 松本 有記雄 〔 水産研究・教育機構 東北水産研究所 〕 〕	飼育に適した微細藻類によるエゾアワビ種苗生産技術の開発
H30	〔 小玉 将史 〔 東京大学大気海洋研究所 〕 〕	大槌湾の藻場に生息するヨコエビ類の群集動態
	〔 山田 美和 〔 岩手大学農学部 応用生物化学科 〕 〕	大船渡湾から単離した微生物によるマンニトールを原料としたバイオプラスチックの生合成
R01	〔 森谷 大樹 〔 岩手大学大学院 総合科学研究科 〕 〕	海藻成分を資化してバイオプラスチックを合成できる大船渡湾より単離した新規微生物
	〔 佐藤 信彦 〔 東京大学大気海洋研究所 〕 〕	大槌における鳥によるサケ稚魚食害について
R02	〔 増永 英治 〔 茨城大学 地球・地域環境共創機構 〕 〕	三陸沿岸海域に伝播する内部潮汐に関連する諸現象
	〔 清水 大輔 〔 水産研究・教育機構 宮古庁舎 〕 〕	緑色LED光照射でホシガレイの成長促進 その仕組みと品質評価
R03	〔 飯野 佑樹 〔 東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター 〕 〕	岩手県沿岸域に降海したサケ稚魚の成長と運動のエネルギー配分に関する研究
	〔 松本 有記雄 〔 国際農林水産業研究センター 〕 〕	荒天時のアワビの一斉産卵を促している可能性があるフェントン反応

【お問合せ先】

岩手県 ふるさと振興部科学・情報政策室内（令和4年度岩手県三陸海域研究論文募集係）
 住所：〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
 Tel： 019-629-5252 E-mail：marine-con@pref.iwate.jp